

市のすがた

大津市は本州のほぼ中央にある琵琶湖国定公園の西南端に位置しており、滋賀県庁所在地である。また、京都へ10分余り、名古屋、大阪へ1時間弱という交通上の立地条件にも恵まれている。地形的には山と湖に挟まれた南北に細長い(南北45.6km、東西20.6km)自然に恵まれた都市である。

市の由来

大津の名が起ったのは、西暦667年3月に天智天皇が都を大和飛鳥宮よりこの地に遷され、「志賀大津の宮」と称されてから国史にあらわれるようになったが、時には「古津」と称されたこともあるので、正しくは「大津」と称されたのは延暦13年(西暦794年)に桓武天皇が都を平安京に定められた時、天智天皇を仰慕されてその在りし都を「大津」と改称されたことにはじまる。

市の変遷

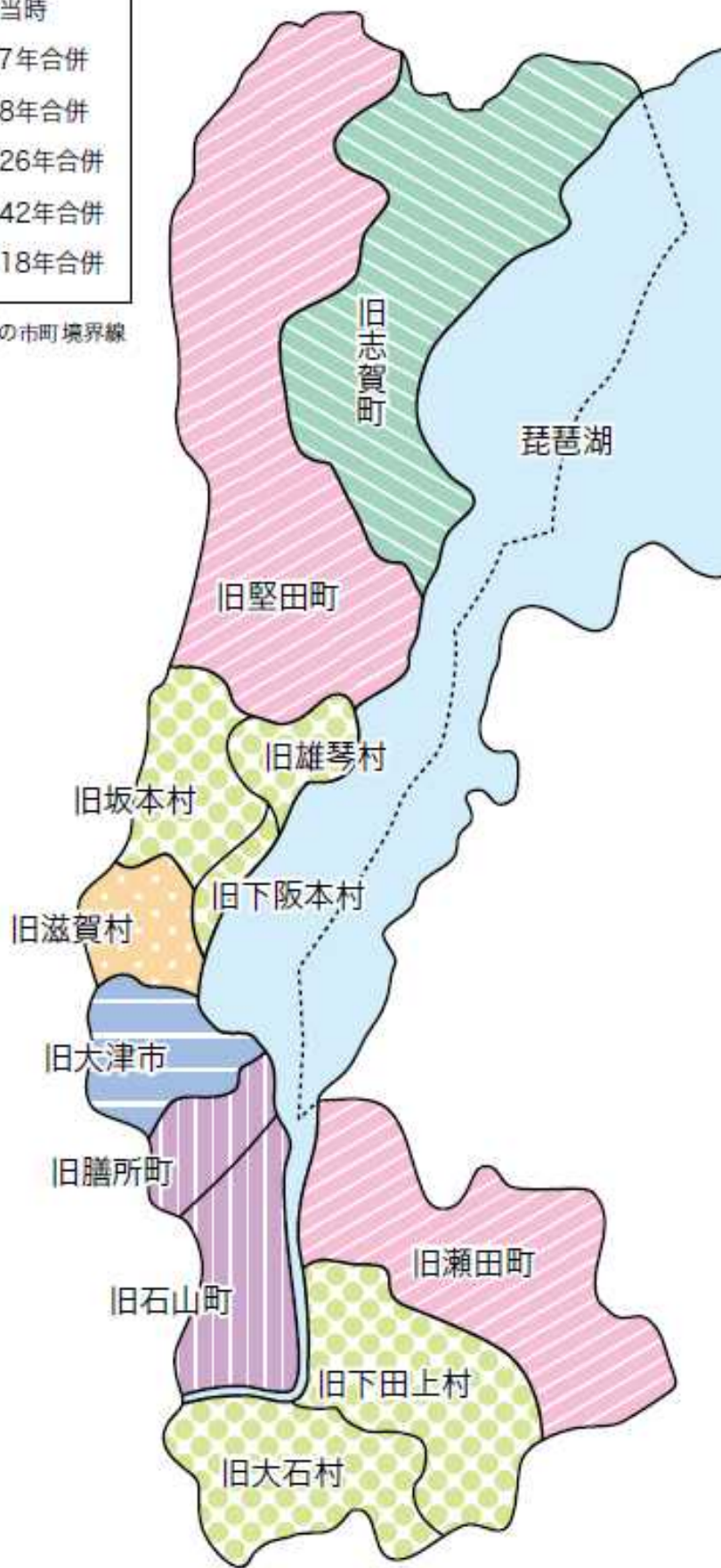
区 分	当時の総面積	総 人 口
市制施行 明治31. 10. 1(1898年)	14.20 km ²	32,446人
滋賀村合併 昭和7. 5. 10(1932年)	28.39 km ² 滋賀村(14.19 km ²)	42,364人 (3,229人)
膳所、石山町合併 昭和8. 4. 1(1933年)	62.48 km ² 膳所町(9.26 km ²) 石山町(24.83 km ²)	69,116人 (16,073人) (8,957人)
雄琴、坂本、下阪本 大石、下田上村合併 昭和26. 4. 1(1951年)	154.50 km ² 雄琴村(5.01 km ²) 坂本村(19.70 km ²) 下阪本村(3.70 km ²) 大石村(36.91 km ²) 下田上村(26.70 km ²)	102,860人 (1,983人) (6,385人) (3,548人) (2,294人) (3,399人)
瀬田、堅田町合併 昭和42. 4. 1(1967年)	303.68 km ² 瀬田町(52.16 km ²) 堅田町(96.64 km ²)	159,442人 (20,516人) (17,517人)
志賀町合併 平成18. 3. 20(2006年)	374.06 km ² 志賀町(71.73km ²)	327,479人 (23,201人)
琵琶湖の市町境界確定 平成19. 9. 28(2007年)	464.10 km ² 琵琶湖分面積(90.04km ²)	331,842人
計測方法の変更 平成26. 10. 1(2014年)	464.51km ² 琵琶湖分面積(89.91km ²)	342,818人
現在 令和7. 10. 1(2025年)	464.51km ² 琵琶湖分面積(89.92km ²)	343,281人

(注)1. 人口は、住民基本台帳による人口である。(平成24年6月までは外国人登録との合計)

2. 公有水面埋立による市域拡張分も含む。
3. 平成15年から国土地理院公表面積に統一している。
4. 志賀町合併時の人口は、平成18年3月末現在である。



※ ---琵琶湖の市町境界線



市の位置、市域の山々

